

## EICMA2019 発表 FANTIC 最新モデルのご案内

平素より FANTIC へのご取材、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。先日、イタリア・ミラノで行われたモーターサイクルショー「EICMA2019」で発表になりました FANTIC の最新モデルをご案内いたします。ぜひとも貴誌や SNS にてご紹介のご検討をいただきたく、お願い申し上げます。



また、今後車両に関する問い合わせの掲載先は下記内容に統一することになりましたので、ご紹介いただける際にはこちらも合わせてよろしく願いいたします。

**【問い合わせ】サイン・ハウス車両事業部**

電話番号 :03-3721-1770 ホームページアドレス : <https://caballero.jp/>

**【お問い合わせ先】 株式会社サイン・ハウス 車両事業部**

広報：和田（わだ） wad@bolt.jp



**株式会社サイン・ハウス 車両事業部**

ショールーム 〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 2-32-15

TEL : 03-3721-1770 FAX : 03-3705-5065

## FANTIC 最新モデルを発表！



今回の EICMA では、全く新しいオフロードモデルを 3 機種、参考出品として展示いたしました。水冷 2 ストロークエンジンを搭載したモトクロッサー、XX125 並びに XX250 と、EURO-5 をクリアし保安部品を装備した公道走行可能モデル、XE125 です。FANTIC のこうした新しいオフロードモデル群は、公道を走れるトレールバイクとして人気を博している FANTIC ENDURO シリーズとは全く異なる、レースモデルとして販売されます。これらニューモデルの熟成のため、2020 年シーズンは 1 月から、FANTIC ではイタリア選手権及びヨーロッパ選手権のモトクロスと、エンデューロ世界選手権にファクトリーチームを擁して参戦。FANTIC のブランドが再びレースシーンにカムバックしていきます。

この新しいオフロードモデルは、FANTIC Motor とヤマハ・モーター・ヨーロッパとの協業によって生まれました。両者の関係は FANTIC がモトーリ・ミナレリ（ヤマハ発動機の子会社）製のエンジンを採用していることに始まり、より深く踏み込んだ協業へと育てられているものです。エンジンやシャシーコンポーネンツの多くはヤマハで開発され、ファンティックに供給されます。ファンティックではこれに独自のチューニングを施し、さらにシャシーを熟成させ、ヤマハとは全く異なる味付けのモデル群を用意していきます。



2019年のミラノでは3機種を発表・展示しましたが、2ストロークエンジンを搭載する250ccのエンデューロマシンの開発や、4ストローク250ccマシンの開発は既にコミットされているばかりか、さらにその先のほかのエンジンの供給についても示唆されています。

2020年モデルとしてまずはレースの場でデビューするFANTIC XX125とXE125は、2021年モデルとして、2020年夏ごろからの市場投入を予定しています。



▲ XE125(コンセプトモデル)



▲ XX125(コンセプトモデル)

## CABALLERO 50th アニバーサリーモデル



2018年に50周年を迎えたFANTIC MOTOR社。誕生の翌年にあたる1959年に発表されたレゴラリータ、Caballeroは今年でその歴史が半世紀に達することとなりました。これを記念したのが、Caballero Scrambler 500 50th Anniversary。タンクに配されたイタリアンフラッグを想起されるグラフィックは、初代Caballeroに用意されたものへのオマージュです。サイドカバーの50周年記念グラフィックは専用に用意されるほか、ゼッケンプレートやラジエーターガード、エンジンガード、タンクバッグなどの特別装備を奢られた50周年記念モデル。市場投入が決まり次第、別途お知らせいたします。

